

グローバル・マネジメント特論Ⅱ

土屋 淳二

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

グローバル市場の特徴と問題を明らかにし、今日の消費者にみる行動様式や消費に対する意識変化を読み取りながら、ファッションビジネス環境において企業に期待される役割、国際ビジネス事業を展開するために必要な企業内外に対する行動マネジメント戦略の在り方を解説する。具体的な事例を議論することをつうじて、マネジメントの実際運用上の問題点を解説する。

■到達目標（学修成果）

グローバル市場の本質的な特徴を把握し、ファッションビジネス・産業界の問題を正確に分析し、企業経営戦略の計画・立案・実行能力を高め、グローバルマーケティング戦略の手法を習得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ビジネス系必修科目である。ファッションビジネスマネジメントコースの卒業認定科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	イントロダクション（授業内容のガイダンス：グローバル・マネジメントの実践課題の諸相）	復習：授業で指摘した問題点に関する補足的情報収集。	20分
2回	グローバル市場の動向把握と経営戦略Ⅰ：海外市場進出に伴うリスクマネジメント問題	復習：主要な海外市場の規模を確認する。	20分
3回	事例報告①：文化的コスト負荷（製品・ブランドの社会的評価・浸透）にみるトータルコスト・バランス（TCB）	復習：ブランド企業のコスト戦略についてまとめる。	20分
4回	事例報告②：グローバル商品のローカル市場浸透戦略とローカル商品のグローバル市場浸透戦略	復習：ブランドのローカル戦略について具体的事例を集める。	20分
5回	グローバル市場の動向把握と経営戦略Ⅱ：RD-MD戦略とイノベーション	復習：新規ブランド構築の戦略をまとめる。	20分
6回	事例報告③：科学技術の高度化とファッションシステム進化論	復習：テクノロジーとファッションの関係性を整理する。	20分
7回	グローバル市場の動向把握と経営戦略Ⅲ：ブランディング戦略とブランドマネジメント	復習：ブランドマネジメントの具体的事例を考察する。	20分
8回	事例報告④：PR/パブリシティ戦略の諸問題とマーケティング手法の落とし穴	復習：PRと宣伝の違いをまとめる。	20分
9回	グローバル市場の動向把握と経営戦略Ⅳ：海外市場に対する販売促進戦略・小売戦略	復習：小売店舗の設計について考察する。	20分
10回	事例報告⑤：ラグジュアリー・ブランド・ライセンス事業の終焉と新ブランド構築戦略のあり方	復習：ライセンス事業の利点と問題点を抽出する。	20分
11回	事例報告⑥：販売動向分析にみる店舗の数量的配置と設計計画、オンライン販売戦略	復習：Eコマースと店舗販売との両立可能性について考察する。	20分
12回	グローバル市場の動向把握と経営戦略Ⅴ：社会貢献と企業倫理	復習：CSR活動の事例を集めて整理する。	20分
13回	事例報告⑦：持続可能性と共生社会に向けた事業展開と経営倫理戦略	復習：経営理念と社会的責任について、企業と消費者の観点から考察する。	20分
14回	事例報告⑧：倫理的消費の拡大とCSRの戦略的可能性理解度の確認（提示された課題についてレポート提出。）	復習：倫理的な消費者と消費リテラシーについて具体的事例を集めて考察する。	20分
15回	課題レポートの講評	復習：授業で扱ったテーマを再度自分なりに考察する。	20分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポート評価後の授業において講評を実施する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

土屋淳二 『モードの社会学』（上）、（下）学文社。

■参考文献

教場にて適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

連絡先：本校舎 1階教務課 【出講日】木曜日

■備考

毎回復習を行ってください

ファッション・バイヤー論

大極 勝

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッション業界における各種業態＝百貨店、メガストアブランド、ハイブランドなどのバイヤーの具体的な業務を学ぶ。実務として600億円のバイイング経験と150店舗以上の店舗・人員・販売管理までのトータルマネージメント経験を活かし、実社会で即戦力となるように指導。バイイングのプロとして求められる総合力＝人間力を授業と実生活を通して修得する。

■到達目標（学修成果）

ファッションバイヤーという職種に限定せず、スーパーバイザー、マネージャー、店長等と広く業界に携わっていくための総合力を身につけることを目標とし、将来的に業界を牽引できるような人物となる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、卒業要件科目の単位です。実社会に出た時に、新たな力となる考え方の基盤を作ることができ、4年間の各講座の積極的理解のまとめとなります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	ファッション業界人にあるべき姿－問われる総合的な人間力	復習：社会人、学生である前に人としてのあり方を考える。	20分
2回	バイヤー、マネージャー、MD、SV、ディレクターの役割確認	復習：業界内の各職種の違い、関連性の確認。	20分
3回	百貨店バイヤーの働き	復習：巨大百貨店バイヤーの役割確認。	20分
4回	アパレルブランドバイヤーの働き1	復習：ハイブランドバイヤーの役割。	20分
5回	小売店バイヤーの働き（レリアン事例）	復習：小売店バイヤーの役割確認。	20分
6回	アパレルブランドバイヤーの働き2	復習：全国展開ブランドバイヤーの役割確認。	20分
7回	メガブランドのバイヤーとは（ファーストリテイリング）	復習：ファーストリテイリングのバイイング確認。	20分
8回	日本の歳時記とバイイングのあり方	復習：日本の四季を知る。	20分
9回	シーズンMDと52WMD各メリット・デメリット	復習：バイイングの考え方を理解。	20分
10回	バイヤーと販売現場の関係性を探る	復習：いかにして現場で売ってもらえるかを考える。	20分
11回	バイヤーとベンダーの関係性を探る	復習：いかにして気持ちよく仕入れさせてもらえるかを考える。	20分
12回	バイヤーに問われる各種数値管理	復習：バイイングに必要な計数理解。	20分
13回	バイヤーのMD計画書作成（実習）	復習：第14回での発表内容を考える。	20分
14回	バイヤーのMD計画書作成（実習・発表）	復習：発表内容の振り返り。	20分
15回	まとめ	過去回を振り返り今後の活動に活かす。	20分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回講義内で課題設定し次回の講義で講評。期末レポートによる試験と後日掲示による総評にてフィードバック。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

2年次使用の 大極勝著「商品よりも『あと味』を先に売りなさい」2013年・日本実業出版社 ¥1,300（税別）を継続使用

■参考文献

柳井正著 超訳-速習-図解プロフェッショナルマネージャー・ノート 2010年 プレジデント書籍編集部

■オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・マネジメントコース研究室〔4036教室〕にて授業前30分前待機。

■備考

なし

ファッションMD 評価システム

田中 康寛

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本科目では、ファッション・MDの業務評価について、実務・実践型で取り組む。ファッションMD評価システムでは、まず計画、実行した結果を評価して、計画を修正するアクションを起こす部分からなっている。計画ではPDCA (Plan Do, Check, Action) が重要である。この点を小売業の年間業務を通じて重点的に説明をする。

■到達目標 (学修成果)

MD 評価システムの重要性を説明する。PDCA 視点から説明をする。その結果、PDCA サイクルが、いかに業務評価において重要かを理解することを到達目標とする。また、具体的な評価・数値管理であらわし、計画値と対比する形でのアクション計画力 (年間、シーズン) を身に付けてもらうことを到達目標とする

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目で、また卒業要件科目です。最終仕上げ段階であり、卒業時に、他の科目と合わせ、ファッションに関する業務を深く理解することができるようにする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	CMOの新しい役割	予習 CMOとは何かを調査 復習 CMOの役割を説明できる様にする	30分
2回	オムニチャネル消費者行動論	復習 オムニチャネルとは何かを、事例をもって説明可能とする	30分
3回	生活者のプロファイリング	予習 プロファイリングは何かを調査 復習 プロファイリングを自分に対して実施してみる	45分
4回	MD 関連数値項目の整理	復習 代表的な数値項目を説明可能とする。	45分
5回	MD評価の基本的な考え方	復習 基本的な考え方を自分の言葉で説明できるようにする	30分
6回	MD評価分析 年間スケジュール 次回発表テーマ整理	復習 年間の業務に、どのようなものがあるかを理解しておく	60分
7回	まとめと発表	予習 1回から5回に関するテーマを設定発表内容作成	60分
8回	続：発表とフィードバック	復習 他の学生の発表を加味して自分の発表内容を整理する	45分
9回	競争力評価分析	復習 競争力判断項目を理解する	50分
10回	ブランドとは何か	予習 ブランドとは何かを調査 復習 事例をもって説明可能とする	60分
11回	バイヤー職務	予習 バイヤーとは何かを調査 復習 シーズンとバイヤーの仕事に関連させ説明できる様にする	45分
12回	VMDとバイヤー職務	復習 ブランド評価の視点を理解	45分
13回	1回から12回に関連したテーマにてプレゼン テーション実施とフィードバック	予習 プレゼン資料作成	60分
14回	同上	予習 プレゼン資料作成 復習 プレゼンの視点を整理	60分
15回	半期のまとめ	予習 全般での質問事項などを整理	30分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

試験に関しては、提出した用紙に記述すると同時に返却した回の初めにフィードバックをします。
発表は個人での発表です。資料を学内PC利用にて作成し発表します

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

資料を授業で配布および教科書「数学は嫌いでも算数はできる」

■参考文献

尾原蓉子著 グローバリゼーションとデジタル革命から読み解く Fashion Business 創造する未来

■オフィスアワー・研究室

講師控え室に在籍 【出講日】水曜日

■備考

なし。

卒業論文Ⅰ（マネジメント）

鈴木 明 ・ 鈴木 康久

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

この卒業論文執筆、作成へ向けての演習は、学生自身が卒業論文Ⅱの学問的かつ学術的(アカデミック-academic)につながる課題研究の前段階に位置付けられる。1つの議論の論点を絞り込み、教材としてファッションビジネス分野の専門参考文献(テキスト)を中心にグループ討論による共同学習で資料の収集分析を行い要約し、報告者が自身の意見を述べる。創造力と考える力を養う。指定するテキストを精読し、関連文献を必ず学んでおくこと。

■到達目標（学修成果）

学生がこの科目を履修することにより、指定するテキストを精読することにより、問題意識を持ち、問題提起できるようになる卒業後、社会人として重要な考え方である。さらに、具体的な調査、分析・考察から自らの考え、意見、見解を述べることができる。最後に結論では確信のある主張が重要である。学生自身が物事を理論的(ロジカル・シンキング的)な考え方ができるようになり、重要なビジネスの現場においても交渉力や折衝力のスキルを身に付けることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、また卒業認定科目の重要かつ必修単位である。ファッション業界で活躍できる企画力・プレゼンテーション能力などの経営管理能力を身に付ける専門力向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修		
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間	
第一	1回	オリエンテーション 専門演習の取組み方についてガイダンスを行う。	(予習・復習) 課題文献の指定と発表分担を行う。	90分
	2回	第一のテーマ(指定した文献)、各回、担当者の発表の後、質問者(3問)以上について討論。	第1回目にテキストを用意する。	90分
	3回	第一のテーマ(指定した文献)、各回、担当者の発表の後、質問者(3問)以上について討論。	指定テキストを精読し、関連のある主な参考文献との先行研究を学んでおくこと。	90分
	4回	第一のテーマ(指定した文献)、各回、担当者の発表の後、質問者(3問)以上について討論。	学生全員に分担する課題として①テキストの発表者(報告者)、②各自質問者が(3点以上)をレポートにまとめ毎回の発表にプレゼンテーションし、ディスカッション(討論)する。	90分
第二	5回	第二のテーマ(指定した文献)、各回、担当者の発表の後、質問者(3問)以上について討論。	各回とも、担当者を決め、後各質問者に対して討論を行う	90分
	6回	第二のテーマ(指定した文献)、各回、担当者の発表の後、質問者(3問)以上について討論。		90分
	7回	第二のテーマ(指定した文献)、各回、担当者の発表の後、質問者(3問)以上について討論。		90分
	8回	第二のテーマ(指定した文献)、各回、担当者の発表の後、質問者(3問)以上について討論。		90分
	9回	第一、第二の中間まとめを行う。レポート提出(学生全員)レポートはフィードバックする。		90分
	10回	卒業論文の心得について(ガイダンス)→論文スタート 研究テーマと論文課題(テーマ)について	論文執筆について参考文献の紹介、予習	120分
	11回	卒業論文:「目次」「序論」等の論文構成(アウトライン-outline)についての作成	(復習) 研究計画をまとめる。	120分
12回	卒業論文: 論題・副論題決定 学士論文・研究計画の心得	(復習) 研究計画をまとめる。	120分	
13回	卒業論文: 研究計画の書き方 「はじめに」作成	(復習) 研究計画をまとめる。	120分	
14回	卒業論文: 研究計画発表練習[研究計画書完成]	(予習) 論文研究計画の準備	120分	
15回	卒業論文: 研究計画発表・提出	夏休みにかけて後期卒業論文Ⅱに向け参考文献を必ず精読と多読すること。	120分～	

■フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

平常時間内でも、専門参考文献による発表者・質問者の課題提出。討論者の(学生の氏名と議論の回数)で評価する。また課題提出卒業論文: 研究計画発表・提出する。最後の授業(15回目)にフィードバックとして、講評・解説を明記し学生一人ひとりに面接、返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

木下 明浩『アパレル産業にマーケティング史～ブランド構築と小売昨日の包摂～』同文館出版社 平成23年3月15日発行

■参考文献 その都度指示する。自主的に且つ積極的に図書館での文献を活用する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー: 前期・後期(月)10:30~12:30、(火)10:30~12:30 FB研究室: 第四校舎3階(4036教室)

■備考 教室の空き時間を有効に使ってください。 毎回必ずテキストを準備してください。

卒業論文Ⅱ（マネジメント）

鈴木 明 ・ 鈴木 康久

4年 後期 マネジメント必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

本コースの卒業課題は、卒業論文である。ファッションビジネスとの関連性の中から、自ら関心興味ある領域により焦点（フォーカス）を絞り込み、各自の論題（テーマ）、副論題（サブテーマ）を設定し、研究課題として卒業論文として執筆する。

その際、3年次で取り組んだ「産」・「学」連携による企業へのブランド提案した企画提案で、論理、市場調査、企画立案、商品開発、デザインの創造性の知的情報戦略から、企画書をまとめ、作成し、プレゼンテーションを実施した経験、知識を生かした実務・実践型授業等を参考にし、卒業論文の執筆に取り組む。さらに、アカデミックの探求へと全体の構成、文献・データの収集を利用、引用・構成等、論文の技法を各人、論文執筆の進展に配慮しながら、具体的に指導する。

■到達目標（学修成果）

学生がこの科目を履修することにより、指定するテキストを精読することにより、問題意識を持ち、問題提起できるようになる。また、具体的な調査・分析考察から自らの考え、意見、見解を述べることができる。最後に結論では学生自身が物事を理論的（ロジカルシンキング的）な考え方ができるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、また卒業認定科目の重要かつ必修単位である。ファッション業界で活躍できる社会人として即戦力のある経営管理能力を身に付ける専門力向上に資する科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	卒業論文：卒業論文中間発表日	（予習）文献の補充、見直し、次へ進む	120分
2回	卒業論文：学士論文の心得と執筆について	（予習）学習の準備	60分
3回	卒業論文：学士論文作成 個別面談	（予・復習）個別面談後の修正、加筆	60分
4回	卒業論文：学士論文作成 個別面談	（予・復習）個別面談後の修正、加筆	60分
5回	卒業論文：学士論文作成 個別面談	（予・復習）個別面談後の修正、加筆	60分
6回	卒業論文：学士論文作成 個別面談	（予・復習）個別面談後の修正、加筆	60分
7回	卒業論文：学士論文作成 個別面談	（予・復習）個別面談後の修正、加筆	60分
8回	卒業論文：論文提出・査読へ、PP企画作り 論文発表準備 論文評価の査読は外部（実務家、専門家、研究者、教育者など）に依頼する。	（予・復習）個別面談後の修正、加筆	60分
9回	卒業論文：PP企画作り プレゼン練習	（予・復習）PP手直し、プレゼン準備	60分
10回	卒業論文：PP企画作り プレゼン練習	（予・復習）PP手直し、プレゼン準備	60分
11回	卒業論文：PP企画作り プレゼン練習	（予・復習）PP手直し、プレゼン準備	60分
12回	卒業論文：PP企画作り プレゼン練習	（予・復習）PP手直し、プレゼン準備	90分
13回	卒業論文：修正論文提出 プレゼン練習	（予・復習）PP手直し、プレゼン準備	90分
14回	卒業論文：ポートフォリオ作り プレゼン練習	（予習）各自ポートフォリオの準備	90分
15回	卒業論文：プレゼン練習（リハーサル・本番への準備）	（予習）プレゼンテーションリハーサルと本番の準備	120分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

平常時間内で卒業論文：学士論文（PP発表）、ポートフォリオ（展示用）提出する。フィードバックとして外部の論文評価は査読講評、解説（誤字、脱字、総合評価など）後、修正、訂正し再度、論文作成を完成させる。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	40%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

その都度指示する。自主的に且つ積極的に図書館での文献を活用する。

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：前期・後期（月）10：30～12：30、（火）10：30～12：30 FB研究室：第四校舎3階(4036教室)

■備考

教室の空き時間を有効に使ってください。毎時間必ず論文・執筆中の原稿を持参すること。